

10.1 検修・構内外注化のデタラメな惨状

今こそすべての怒りを反撃へ!

動労水戸

国鉄水戸動力車労働組合

水戸市三の丸三・一・三
 発行責任者 石井真一 編集者 西納岳史
 電話 029・227・6020
 FAX 029・227・6291

外注化・非正規職化への怒りは世界とつながっている!

10月1日に強行実施された検修・構内業務の部分外注化実施は、JRがこれまで労働者に言ってきた「安全確保」「法令遵守」をないがしろにしている。そして、その矛盾と責任を現場労働者に負わせようとしている。事実、幕張車両センターと豊田車両センターでは、10月1日に外注化体制になったことで、指示方法やルールが変更になったことが原因で作業検査切れが発生している。これが会社の言う「安全確保」なのか? さらに、作業検査切れが発覚したにも関わらず、車両運用の都合・作業調整がつかなかったという理由で、営業に使用している。法令遵守はどこへ行ってしまったのか? 社員には「コンプライアンス遵守」と言っておきながら、現場の管理者が平気でコンプライアンス違反をしている!

また、水戸支社が一貫して言ってきた「労働条件は変わらない」というのも全く嘘だった。しかし、東労

MTSには鉄道業務を受託する資格はない!

10月9日、JR水戸支社との外注化実施後初の団交が行われた。外注化実施後の職場の状況に対し労働者の怒りが噴出ししている。

組水戸地本は、10月1日前夜に水戸支社との交渉を妥結し「会社に逆らってもムダ」「流れには逆らえない」等々分かったような事を言っている。青年たちに「降伏」を呼びかけてきた人たちは、何もできないどころか敵対までしている。その一つ一つが怒りなしには語れない。かつての国鉄分割・民営化で自分だけ良い思いをしようとした人たちの本質は現在も変わらない。

今回の動労千葉・動労水戸・動労連帯高崎の「外注化絶対反対」の闘いに連帯して韓国民主労総ソウル本部が、日本大使館に猛烈な抗議行動を行った。「外注化・非正規職化」は全国・全世界の労働者の課題であり、その怒りは国境を越え、労働者を団結させている。外注化・非正規職化・被曝労働に反対する多くの労働者が11月4日の全国労働者総決起集会に結集する。全国・全世界の団結で、外注化をぶっ飛ばそう!

しかし水戸支社は「個々の問題はあるにしろおおむねスムーズに推移している」と言い放った。ということは、現場長や助役が「現場

では何の問題もない」と報告し、外注化を妥結したとの労働組合も問題を放置しているということだ。しかし、現場で起きているのは、絶対に見逃ごせない安全無視、偽装請負の違法行為だ。MTSの制服は採寸もしないで直前に支給したため、当然のごとく問題が続出した。濃青の作業服や青ヘルメットは夜間には視認性ゼロだ! 誘導をするにも安全手ヨッキから旗や合図灯まで用意されてない。高所作業用の安全帯もなかった。勝田では、車両の入換中に非常ブレーキがかかるもMTS当直助役が間違った指示をしたことで大混乱。40分も踏切をふさいだまま入換がストップ。また、JRに残された運用担当や事務用品は連日3〜4時間もの残間も発生する事態になっている。土浦では作業要領の説



日本大使館に抗議する韓国民主労総の労働者

明が間に合わず、移行後に説明するという事態が発生。大子では、狭い詰所でJRとMTSが同時に点呼をやるので聞き取れないという事態・等々、外注化に際して何も準備ができていなかった、起りうる問題も想定できていない、問題を解決できる能力もないということが、実際に外注化をやってみて明白になっている。また、従来は車両職が2名体制だったところが、外注化のせいでJR1名とMTS1名に分けられてしまい業務に支障が出ていると指摘すると、会社は「役割をしっかりと担うれば共同作業しても構わない」と回答。全職場で「教育」してきたことと真逆の管理者さえも知らない論を突如として言い出したのだ。これが偽装請負でなくて一体何か。「コンプライアンス」もへったくれもあつた話ではない。

自分たち自身の労働組合にしよう!

「のように、徹底的にデタラメで正当性の無い外注化を受け入れ、何もできない労働組合に対して「組合費を払う意味がない」「脱退したい」という声が上がっている。自分たちの労働組合が妥結した内容は、組合と会社を拘束すると同時に組合員も縛る。しかし、労働者一人の力では会社との「約束」など守られる保証はない。労働者は、不当な扱いや、違法行為

に対して労働組合に団結し集団で闘う事ではか身を守る事ができない。だから本当に職場の労働者のために闘う労働組合が必要なのだ。「動労水戸だけはやめろ」と会社も他労組も言うのは、労働者のために本気で闘う労働組合だからだ。こんなデタラメで理不尽な外注化に屈服すれば、来年は誘導が、そのあとは機動班、交検、派出へと全面外注化になる。「戻る」ところなど完全になくなる。いま自分たち自身の労働組合を作り上げる以外に道はない。動労水戸には、既に二人の青年が先頭に立って闘い、それを支える歴戦の組合員がいる。動労水戸に結集し、以前のような明るく活き活きした職場を復活させ、共に生きていこう!

11・4全国労働者総決起集会

- ☆新自由主義と闘う労働組合の全国ネットワークを!
 - 外注化阻止・非正規職撤廃!
 - 国鉄1047名解雇撤回!
 - 反原発・反失業を闘う国際統一行動を!
- 11月4日(日) 正午 東京・日比谷野音